



平成30年12月5日発行 第7号

みんなでつくる 新たな学校



子どもの未来

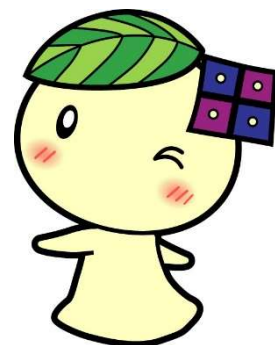
生野区では、勝山中学校と鶴橋中学校を再編し、教育環境の改善を図る取組を進めています。

勝山中学校・鶴橋中学校 学校設置協議会（以下「協議会」といいます）（第7回、平成30年10月9日）が開催されましたので、協議結果などをご報告いたします。

桃谷中学校の標準服が決定しました



桃谷中学校の
標準服を紹介します!!



※今後、業者との細かい部分を調整していきますので、若干の変更が生じることがあります。



(1) 出席状況

【定数：地域まちづくり協議会推薦者 各2名、中学校PTA推薦者 各9名】

(出席数) 22名

勝山地域まちづくり協議会	1名	東桃谷地域まちづくり協議会	1名
北鶴橋まちづくり協議会	2名	鶴橋ふれあい協議会	1名
勝山中学校PTA	8名	鶴橋中学校PTA	9名

(2) 議題

- 1 再編運営委員会からの報告
- 2 議事 ① 標準服、校歌について ② その他

(3) 再編運営委員会からの報告

平成30年9月19日、10月4日に開催された再編運営委員会の検討内容について副部長より報告がありました。

※再編運営委員会とは、両中学校PTAからの推薦委員で構成された協議会の部会で、学校再編の基本項目の検討について、効率的・効果的に議論を行う場です。委員会で検討した内容は、協議会で報告したうえで、協議し、最終決定を行います。

報告内容

【9月19日の再編運営委員会について】

- ・標準服については、4業者から標準服の応募があり、それぞれの業者からプレゼンテーションを行っていただきました。委員からは機能性、生地、素材などの品質の質疑があったが、それぞれの標準服は甲乙つけがたく、委員から、生徒を対象にアンケートを取り、その集計結果を参考にしたらどうかと意見があったため、両学校でアンケートを取るようになりました。
- ・校歌の歌詞募集については、大阪市の報道発表などのスケジュール報告がありました。

【10月4日の再編運営委員会について】

- ・標準服について、両中学生の生徒アンケートの結果、両校あわせて70%以上の支持を得た標準服を部会案とすることに決定しました。
- ・委員からは「ブレザーのボタンを取り外しができないか」「ズボン、スカートは夏用・冬用の用意はできないか」などの意見があり、事務局で業者と調整するとともに、詳細の調整は生徒指導の観点から学校で検討・決定いただくことになりました。
- ・なお、在校生の夏用・冬用のポロシャツは再編運営委員会の強い要望を受けて、2着ずつ教育委員会事務局で購入する方向で協議が進んでいます。
- ・校歌の作詞については、公募を10月5日（金）に報道発表し、11月9日（金）の〆切後、あらためて再編運営委員会を開催し部会案を決定します。



(4) 協議の結果

決定事項

- ・ 標準服については、1 ページ目のとおりです。

(5) その他

(いただいた主なご意見は★に記載)

学校再編に向けての不安点・疑問点について

行政

- ・ スクールカウンセラーについて、週1日の配置と回答しておりましたが、協議会でいただいたご意見を踏まえ、週2日以上配置ができるよう関係先と協議を進めています。
- ・ 民間事業者を活用した塾について、生野区民センターの会議室を活用して来年5月に開校できるよう進めていきたいと考えています。
- ・ 学校体育施設開放事業について、桃谷中学校の運営委員会ということで再編いただくことになりますが、鶴橋中学校の体育館は桃谷中学校の第二体育館と位置づけで活用していきます。今後、各中学校の運営委員会に説明し、これまでと同じような形で利用できるよう進めていきたいと考えています。
- ・ 教員の配置について、配置基準より増員となるよう予算要求していきます。また、タブレットの配置について市の基準よりも多くの台数を配置するとともに、学校での教育を支援する各種の予算が単純に一校分とならないよう協議を進めてまいります。

防犯カメラについて

- ★ 防犯カメラの設置はどうなっているのか。また、今年度は何台設置する予定なのか。

行政

桃谷中学校区では今年度中に6台設置する予定です。設置予定箇所は最終調整中ですので、決定しましたらご報告させていただきます。不安な場所について校長先生と相談しながら取組を進めていますが、予定箇所以外でもここが危ないとの意見をいただければ、今後できる限りの対応を検討していきます。

- ★ どこに防犯カメラがあるのかホームページ等でオープンにすることはできないのか。

行政

可能かどうかも含めて担当部署に確認し、改めて回答させていただきます。

予算について

- ★ 来年4月の開校に向けて学校間で協議を進めているとのことだが、こうした方がよいとなったときに予算に間に合わないとならないようスケジュールをしっかりと把握して進めていただきたい。また、先生方も多忙になるので、教育委員会がバックアップしていただきたい。

行政

5月に学校・教育委員会・区役所で協議を始めた時から、なにが必要なのかということを段階的に進めてきています。予算を確保して当初から計画しているものがしっかりとできるよう、努めてまいりたいと考えています。

- ★ 各学校で元気アップコーディネーターが独自の取組みをされている。学校現場の要望を聞いて、両方継続できる予算をつけていただきたい。

行政

両校の校長からもお話を聞いております。2校分は難しいですが、1校分+αの予算を確保できるよう協議を進めています。

学校跡地について

- ★ 防災の関係で鶴橋中学校はどうするのか。当面は第二運動場・第二体育館として利用されるので避難所として活用できるが、それをどうしていくのか地域住民と議論してほしい。

行政

第二運動場、第二体育館として活用していきますが、それ以降は市の方針に則って、原則売却になります。災害時の避難所について、地域の方と一緒にしっかり話をしていきたいと考えています。

- ★ 鶴橋中学校の跡地利用について、この協議会が終わったらどこで話をするのか。
- ★ 役所からではなく、地域から声を上げていくべきだ。町会を通じて声を上げることもできるし、区政会議もある。跡地の話もどんどん意見を上げていくべきだ。

行政

鶴橋中の跡地は暫定的に学校の施設として残ります。学校施設として残っている間に利用したいとの希望があれば、声を上げていただいて、区役所もしくは学校に言っていただくことで可能か検討させていただきます。

教育について

- ★ 2020年から教育制度が変わる。これからの子どもたちは答えのない答えを探すことになり、先生方の質の向上をしていただかないと対応できなくなると思う。学校の先生方が配属される中でどれくらい質を求められているのか、また、部活動の問題など学校現場が大変な状況の中で手が回るのかが不安要素としてある。どのように対策しているかPTA関係の方々にお話しして、安心させていただきたい。どういうふうに変化が来て、学校の先生方はどういう教育をしていってどういう指導をしてきますというのを明確にしてあげてほしい。

行政

現在、2020年に向け移行期に入っています。この移行期において、例えばネイティブの音声のDVDを流し、子どもたちが英語に慣れていくための時間を週3回以上合計20分以上になるよう設けています。また、教員は夏休みに研修を行うなどスキルアップを図っています。新学習指導要領で大きく変わる点として、学習方法として「主体的・対話的で深い学び」になると言われています。先生が一つの問いを投げかけて、それに対して子どもたちが考えたり、隣の人やグループで話し合ったり、また自分で調べ探求し、新たな疑問点を見つけだし、解決に向けた学習を自ら行うという学習形態に変更してきます。これを念頭に小中学校でそれぞれ具体的な実践を積み重ねて、完全実施となる2020年（中学校は2021年）に戸惑うことのないよう進んでいるところです。文科省（スポーツ庁）が本年3月に発表した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき、本年7月に改定した大阪市部活動指針をふまえ活動のあり方を検討しています。

学校再編に関する情報は生野区ホームページでもご覧いただけます。

生野区西部地域学校再編の動き

検索



発行

学校設置協議会 事務局
(生野区役所 地域まちづくり課)
電話：06-6715-9920